

委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆一般会計決算認定

公用車のドライブレコーダーについて。

公用車71台に設置。効果としては平成30年度までは平均10件程度あった公用車の事故件数が、昨年度5件、今年度は今のところゼロに。

職員研修事業について。

「ファシリテーション」組織力「接遇」を重点事項とし、外部講師を招いて実施している。SDGs基礎講座は今年度も継続予定。

賛成多数で認定



◆水道事業会計利益の処分及び決算の認定

吉川市に貸付けた金額・利息はいくらか。誰の判断か。

令和元年7月に相談があり、10月に貸付、令和2年3月末に償還があった。貸付利息は約63万円。貸付額は一般会計に7億円・特別会計に3億円、合せて10億円。水道事業からの貸付けは初めてで、市長の判断である。

賛成全員で可決及び認定

◆吉川市一般会計補正予算

財政調整基金△3億3253万3千円が計上されているが、財政調整基金の残高は。昨年度は資金不足になったが、今年度の状況は。

9月補正後の残高は7億9545万4千円。昨年は中学校の建設費の支払いが国庫補助金の入金前で、一時的に現金が不足し、水道事業から借り入れた。今年は大規模事業

の予定はなく現金不足にはならない見込み。

新型コロナウイルス臨時交付金に対する市の事業費の金額は。

第2次分交付額の限度額4億8819万3千円に対し、これまで計上した4億6554万7千円他、旭小、栄小のトイレの洋式化の工事費の一部5千万円を合わせ、5億1554万7千円を9月末に申請する予定。

賛成全員で可決



文教福祉常任委員会

◆一般会計補正予算

コロナ禍において、様々な相談があると思うが、現状は。

4月から8月までの5ヶ月間で、住居確保給付金の申請が42件。4月、5月の申請者は、延長申請の時期を迎えたが、半数が延長した。

コロナ対策として、トイレの改修が挙げられているが、今回の改修の内容は。

地区公民館を含め、洋式化18ヶ所、床の乾式化8ヶ所、蛇口のプッシュ式化23ヶ所。

賛成多数で可決

◆一般会計決算認定

平成30年度は、自殺対策計画を策定したが、計画を推進するにあたり、会議を開催したのか、また、推進する中で自殺された方の状況について伺う。

平成31年3月に自殺対策計

画を策定した。自殺対策推進協議会を令和2年3月に開催する予定であったが、コロナ禍であることから、集まるとの会議は開催せず、委員への進捗状況の報告や意見等を求めたところである。また、当市の自殺された方の推移については、令和元年度10人、平成30年度13人と把握している。

令和元年度は幼児教育、保育の無償化が開始した。対象児童数は。3歳以上で概ね2000人となる。

無償化の影響により待機児童が増えるとの話を聞くが、実態は。待機児童は令和2年4月3人、平成31年4月8人であり、すべて1歳児である。

すべての小中学校にエアコンが設置出来たが、エアコン使用時における子どもたちの様子は。